



# News Letter



第3号

## 大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

〒540-8508 大阪市中央区森之宮中央1-6-20(サクラクレパス内) Tel:06-6910-5595, Fax:06-6910-8837  
http://www.jaso-1946.com E-mail:jaso@craypas.co.jp

### Merry Christmas & A Happy New Year !!

#### 秋の遠足「高野山」

今年の秋の遠足として、10月30日(土)、世界遺産に登録された「高野山」を訪れました。世界遺産に登録されたことが幸いしたのか、78名もの会員の方々にご参加いただき、楽しい一日を過ごしました。一行は難波駅に集合し、南海特急「こうや号」にて一路高野山へ。高野山到着後は2台のバスに分乗し、まず総本山「金剛峯寺」。能家様の法話を頂いた後、特別に非公開の「奥殿」や「新書院」(天皇陛下の御座所)も見せていただきました。昼食は無量光院にて精進料理。お昼からは弘法大師御廟のある奥の院へ。生憎、雨が降る一日でしたが、日頃の喧騒を離れ、樹齢千年を超える杉木立の中、荘厳な気持ちに浸ることが出来ました。



#### ☆ 香田 眞理子 さん (株式会社 カネカ 秘書室)

春の遠足「伊勢神宮」の厳粛さとは違う「少し、ラフな肅々たり」を感じたのは、私だけではないでしょう…。宗派にとらわれず万民を受け入れる、寛大な心のお弘法大師さまのお人柄に惹かれ、全国からこの地に来る人々の気持ちが、僅かながらも判ったような気が致しました。日頃から、宗教心のほとんど無いに等しい私ですが、自身の守り本尊でもある「大日如来」と「縁結び」のお守りを、思わず拝受し、それだけで何かしら、良い事があるのでは！？と勝手に思い込んでしまいました。また、金剛峯寺でのご法話「三つの力」(1.努力 2.仏さまの力 3.周りの力)は、大変わかり易く、今後の心(人生)の糧にしてゆきたいと思いました。昼食もヘルシーな精進料理で美味しく頂戴致しました。雨の中、西村会長さま始め、事務局の皆様有難うございました。来年4/9(土)の京都も楽しみにしております。



#### ☆ 村上 和史 さん (大阪市)

平成16年10月30日、大阪日米協会の高野山遠足に参加し、大変楽しい一時を過ごしました。私が特に印象に残ったのは、高野山真言宗総本山金剛峯寺における法話、弘法大師の教えでした。大変わかりやすく、ユーモアをまじえて話されていたのが印象に残りました。話は変わりますが、私は最近、現役の財務省官僚と思われる宗永健作氏の書かれた「金融崩壊・日本の呪縛」を読みました。宗永氏は、東大法学部卒業後、大蔵省の金融畑を歩まれ(自ら傍流と言われる)、同書の中で、直接金融と間接金融について述べるとして、何年か金融の森で過ごすうちに、私も門前の小僧並みにはお経が読めるようになった、(しかし読者におかれては)正しい知識は、本書とは別のもので身に付けていただきたいと思います。社会には知識や情報があふれており、大学院の社会人への開放等により、誰でも容易に門前の小僧になりうるのが現代の特徴であると思われるのですが、小僧から真のエキスパートへの道はけわしくきびしいと毎日感じています。大阪日米協会事務局には、日本の文化、伝統にふれ、現代を見直す機会の提供をお願いします。



#### 第44回昼食講演会

大阪府知事太田房江氏をお迎えした第44回昼食講演会を、11月26日(金)ヒルトン大阪で開催しました。おかげさまで87名もの会員の方々のご参加をいただき、大盛況となりました。開会冒頭に故浦事務局長への黙祷をささげ、ヒルトン大阪が腕によりをかけたフランス料理の昼食を美味しくいただきました。その後、太田知事にご登壇いただき、「大阪の再生～アメリカ・海外での体験をまじえながら～」と題して講演していただきました。ご用意していただいた資料の半分も話せていないとおっしゃる位、わかりやすく、我々が知りたい身近なテーマについてお話しくださいました。予定の時間をオーバーしてまで、我々の質疑応答に気軽に応じていただき、最後に「執着と信念をもって、断固たる姿勢で臨む」と力強い意気込みをお伺いしました。大阪はがんばらなアカン！と痛感した次第です。



### スケジュール

2005年1月21日(金)18:00~20:30

新年パーティ (リーガロイヤルホテル)

恒例の大阪日米協会と大阪・サンフランシスコ姉妹都市協会、大阪・シカゴ協会と共催の新年パーティです。豪華景品の当たるくじ引きや、楽しいアトラクション、どうぞ奮ってご参加ください！

今年のアトラクションはピアノとテナーサックスでJazzyにお送りいたします。



3月11日(金)

能楽ワークショップ(大阪天満)

3月27日(日)

大相撲春場所観戦及び大相撲談義

4月9日(土)

春の遠足(京都)

4月26日(火)

米国空軍太平洋音楽隊 Jazz演奏会(大阪国際会議場)





## 関西アメリカン・センター・レファレンスサービス

関西アメリカン・センター・レファレンス・サービスでは、アメリカの政治、経済、社会、日米関係などに関して、専門的な最新情報を提供しており、書籍、雑誌、CD-ROM、マイクロフォームなど様々な資料を備えています。簡単なお問い合わせには電話やファックス、郵便で回答いたしますが、より複雑なご質問はご来館の上、お調べ下さい。資料を探すお手伝いは職員がいたしますので、ご遠慮なくお尋ね下さい。

★コレクション 参考図書、定期刊行物、政府刊行物、ビデオカセット、カレント・レポートの他、CD-ROMやオンラインデータベースなどの最新の電子情報を備えています。

★閲覧・視聴 ほとんどの資料を開架していますので、館内では自由に閲覧・視聴いただけます。但し、貸し出しはしていません。

★コピーサービス 資料のコピーや検索結果の印刷は有料で可能です。(1枚20円)

★レファレンスサービス レファレンスデスクでは、専門のライブラリアンが資料室の利用方法や資料の探し出し方だけでなく、アメリカについての様々な問い合わせに応じています。

★入館について 関西アメリカン・センターを訪問される方は、写真付身分証明書の提示を求められます。運転免許証、学生証、社員証、パスポート等の身分証をご用意ください。又、ノートパソコン、携帯電話、ラジオ、カメラ、その他の電子機器、飲食物は持ちこめません。

所在地 〒530-8543 大阪市北区西天満2-11-5  
駐大阪・神戸アメリカ総領事館6階 電話 06-6315-5970  
開館時間 月～金 13:00～17:00 HP <http://osaka.usconsulate.gov>

## 会員便り



トーマス・フリッペン さん  
(西宮市)

来日してちょうど15年半、ローリーと私は2004年12月18日に日本を離れることになりました。新居はワインの産地、カルフォルニア州の中央にあるソノマというところ。私達の人生のほぼ1/4、私達のどちらにとっても、人生を通じてひとつの場所に住んだ最長の期間となりました。同じ時間、同じ場所で、共に「まわりとは違った」存在であるというのは、お互いをより近づけてくれるものなのでしょう。私達の素晴らしい結婚生活を、より良いものにしてくれた日本に本当に感謝しています。祖国から離れて暮らしている外国人の多くに言えることだと思いますが、私達は、故郷カリフォルニア、もしくはアメリカそのものよりも、さらに深く日本を探求しました。最も忘れ難い経験は、西国33ヶ所巡りです。この巡礼を完遂するのに約2年かかりましたが、「やった！」です。「掛け軸」は我が家の小さな床の間にあり、いつも楽しかった思い出をよみがえらせてくれます。私達はその掛け軸をソノマの新居のどこに飾るか既に決めています。日本は世界で最も友好的な国です。日本ほど質の高い礼儀、誠実、勤勉さを社会に涵みこませた国は他にありません。おそらく地球で最も愛国的な社会と言えるでしょう。私達が得た最も素晴らしい思い出は、日本の友人、日米協会を通じて出会った多くの人々です。JASO理事の役職に就いていた1年間、この活気に満ちた浪速の町で働きながら経験した様々なことから、ローリーも私も、少しでも何かをお返ししようと、頑張ってきました。御堂筋パレード、天神祭り、大阪城公園でのお花見、うどんすき、お好み焼き、そしてJASO新年会・・・私達がこれからもしばしば話題にする宝物です。まいどおおきに！さよなら、私達の日本での生活にお力添え下さったすべての皆様により感謝致します。

## さよなら皆さん

来日してちょうど15年半、ローリーと私は2004年12月18日に日本を離れることになりました。新居はワインの産地、カルフォルニア州の中央にあるソノマというところ。私達の人生のほぼ1/4、私達のどちらにとっても、人生を通じてひとつの場所に住んだ最長の期間となりました。同じ時間、同じ場所で、共に「まわりとは違った」存在であるというのは、お互いをより近づけてくれるものなのでしょう。私達の素晴らしい結婚生活を、より良いものにしてくれた日本に本当に感謝しています。祖国から離れて暮らしている外国人の多くに言えることだと思いますが、私達は、故郷カリフォルニア、もしくはアメリカそのものよりも、さらに深く日本を探求しました。最も忘れ難い経験は、西国33ヶ所巡りです。この巡礼を完遂するのに約2年かかりましたが、「やった！」です。「掛け軸」は我が家の小さな床の間にあり、いつも楽しかった思い出をよみがえらせてくれます。私達はその掛け軸をソノマの新居のどこに飾るか既に決めています。日本は世界で最も友好的な国です。日本ほど質の高い礼儀、誠実、勤勉さを社会に涵みこませた国は他にありません。おそらく地球で最も愛国的な社会と言えるでしょう。私達が得た最も素晴らしい思い出は、日本の友人、日米協会を通じて出会った多くの人々です。JASO理事の役職に就いていた1年間、この活気に満ちた浪速の町で働きながら経験した様々なことから、ローリーも私も、少しでも何かをお返ししようと、頑張ってきました。御堂筋パレード、天神祭り、大阪城公園でのお花見、うどんすき、お好み焼き、そしてJASO新年会・・・私達がこれからもしばしば話題にする宝物です。まいどおおきに！さよなら、私達の日本での生活にお力添え下さったすべての皆様により感謝致します。

## ハワイ日米協会の活動について

アロハ！ニューズレター創刊おめでとうございます。先日は幸いにも貴会から都竹素子先生と先生のお母様のご訪問をうけました。メンバーの方々の当会へのご訪問はいつでも歓迎致しますので、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。当会、毎年恒例の晩餐会をこの八月に開催した際、加藤良三駐米大使をキーン・スピンカーとしてお招きし、ダニエル井上議員によるご紹介に引き続いて、講演をして頂きました。晩餐会にはジャパン・ウィザード・アカデミック・コンペティション(日本に関する知識を競う高校生対象のクイズ大会)の入賞チームをハワイの四校から招きました。またハワイ日米協会は、福岡で開催されたアジア太平洋子供会議へ生徒を八人派遣しました。最近では、日本とハワイの中学校間で姉妹校関係を結ぶプログラムに着手しました。これらの活動に先立って開催された日米関係150周年セミナーには、ベリ艦長の六代目の子孫の方とベリーの通訳の一人であった名村五八郎の六代目の子孫の方をそれぞれお招きしました。また、朝鮮半島での最近の変化がいかに関係に影響を及ぼすかを探るため、コリアトリロジープログラムも主催しました。それでは良い御年をお迎え下さい。皆様の御健康と御繁栄、御成功を心からお祈り致します。



アール・オカワ さん  
(ハワイ日米協会 会長)

## シカゴ市長来阪

10月、大阪市の姉妹都市シカゴからリチャード・デイリー市長が来阪されました。折しも台風23号の到来で、一日遅れの到着となりましたが、なんばウォークのシカゴギャラリー・オープニング式典参加など、精力的に日程を消化されました。このシカゴギャラリーは、シカゴ美術館所蔵の世界の名画60作品を原寸大で陶板複製し、常設展示するものです。デイリー市長は、5期15年の在任中、警察と住民の協力による治安の回復、教育の改善、社会福祉の推進など、都市再生に大きな成果をあげ、アメリカの大都市市長の中でも高い評価を得ています。昨年、姉妹都市提携30周年を迎えた大阪とシカゴですが、本年も大阪・シカゴ直行便が就航するなど、今後両市の一層の交流拡大が期待されます。大阪・シカゴ協会では会員を募集しています。ぜひ、ご参加ください。



ご連絡 事務局 大阪市姉妹都市交流協議会  
TEL: 06-6772-9670 FAX: 06-6772-9790  
<http://www.sistercity.net/Chicago/>



深田 尚彦 さん  
(大阪芸術大学 学長)

## 私の心の中のUSA

戦争直後に私は、「世界人類史物語」(神近市子訳)の著者レイモン・コフマンに手紙を送った。それは読み易い優れた書籍で、そこには「もし日本の読者が私に書簡を送ってくれたら嬉しい」と書かれ、住所も添えられていた。終戦時、私は士官であったが、復員後、家から書いた手紙には「すばらしい本で世界人類の歴史について多くを学んだ」と書き感謝を添えた。その後、アメリカから数通の手紙がきた。その一つはミネアポリスの学生から「私がペンパルを探していることを読んだ」と、「日本語で手紙を送る」とあった。コフマン氏は私がペンパルを探していると新聞に手紙を書いてくれたらしい。後にはイギリスからも「アメリカの友人から君の事を聞いた」と手紙がきた。私の英語は不出来であったがデイクとの文通開始後、多くの英語文を書くのに努めた。朝鮮戦争中のある夜、わが家の前にタクシーが止まり、誰かがわが家の扉を叩いた。意外な事で驚いたが、そこにはデイク中尉がいた。朝鮮戦争の前線から休暇で京都にきた彼は、都ホテルに泊っていた。彼はその夜、我が家から泊り、我々は多くを話し合った。が、話の多くは私に聞き取れなかった。私は話す代わりに、時に文章を書いた。互いに独身。彼は我が家の小ささに驚いたであろう。その後4、5日、私たちは京都や奈良を歩いた。彼の話の多くは頭上を通り過ぎていったが、私は幸せであった。私は心理学を学び、心理学研究者として今日まで生きた。今も二人の家族は元気であり、我々は今も働いていて、eメールを交換している。今、私はデイクと彼の家族の事を多く思い出す。彼は我が家に来たし、私も彼の家を互いに一度ならず訪ねた。私は、多くは文通であったが、多くの優れた心理学者に出会った。が、いま、多くの方が亡くなっている。どの方も私よりは年長だからだ。戦後すぐのデイクとの文通開始後、今日までの多くの事を私は回想するが、私の心の中のアメリカはデイクだ、と私は今感じている。

## 会長のひとりごと

蒲事務局長は今回のテーマである「日本のルーツを探る」に、是非高野山を組み入れたいと自らアイデアを出し、世界遺産に登録される前から準備を進め、旅行社と立案計画を立てていました。その秋の遠足の当日は、雨に煙る高野山を自ら先頭に立って皆さんと楽しく散策した後、帰路の電車に乗り、事務局一同「無事に終わってよかったね」と喜んでいた光景が、鮮明に思い出されます。その一番張り切っていた彼が急逝するとは、夢にも思わなかった出来事です。まるで、高野山にある家の菩提寺に墓参りに行き、ご先祖様に報告をしに行ったような秋の遠足でした。今でもまだ、いつもの様に「おはよう」と部屋に入ってくるような気がします。残された我々一同、蒲事務局長のこの大阪日米協会に対する情熱を受け継ぎ、来年7月まで頑張っていきたいと思っています。 合掌



## ◆新入会員紹介◆

## 法人会員

株式会社インターグループ 岩谷瓦斯株式会社

代表取締役社長 小谷 泰造 代表取締役社長 山崎 武徳  
専務取締役 前田 正久

株式会社浅沼組

代表取締役社長 浅沼 健一  
代表取締役社長 浅沼 孝子

執行役員 細川 雅之  
執行役員 永井 日出夫  
執行役員 清水 健次

## 〈会員の皆様にお知らせ〉

## 会費納入のお願い

8月初旬に、2004年度年会費の請求書をお送りしております。まだお振込みいただいていない方がいらっしゃいます。大変急、お振込み頂きますようお願いいたします。

法人会員:1口20,000円、1口追加毎にプラス10,000円  
個人会員:3,000円  
家族会員:1,000円

このたび、新しく大阪日米協会のワッペンを作成しました。ご希望の方は事務局までご連絡ください。1枚500円で販売いたします。



## 編集後記

(Notes)

会報誌には皆様の投稿が不可欠です。英文の作成で躊躇される方がいらっしゃいましたら事務局で作成しますので、ご遠慮なくお申し出ください。新しいアイデアにより楽しいイベントを計画し、当会の発展を何よりも願っております。蒲事務局長が急逝いたしました。今後は蒲の遺志を引継ぎ、残された任期を全うするよう、努力を続けてまいりますので、皆様の温かいご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。(EM)

## 訃報

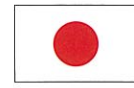
事務局長 蒲信行が11月11日朝、急逝いたしました。ここに、生前のご厚情に深く感謝申し上げます。







# News Letter



Vol.3

## 大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

1-6-20, Morinomiya Chuo, Chuo-ku, Osaka 540-8508, Japan ☎ SAKURA COLOR PRODUCTS CORP. Tel:06-6910-5595, Fax:06-6910-8837  
http://www.jaso-1946.com E-mail:jaso@craypas.co.jp

### Merry Christmas & A Happy New Year !!

#### Autumn Day Trip to "Koyasan"

We visited the world heritage "Koyasan" on October 30 this year as the autumn Day Trip. As many as 78 members attended it maybe charmed by recently registered world heritage and spent a joyful day. The group headed from Nanba station to Koyasan by Nankai express train "Koya-go". After arrival at Koyasan station, we, in two separate buses, first went to "Kongobuji" headquarter temple. After getting priest Nouie's sermon, we were specially guided to "Okuden" and "Shinshoin" which are usually closed to the public. Lunch was "Shojin-ryori" cuisine taken at "Muryo-kouin". Then to "Okunoin Gobyō" where the great priest Kobodaishi is enshrined. Although it was unfortunate rainy day, very solemn feeling was generated in the cedar clump over 1,000 years old forgetting daily noise.



#### ☆Ms.Kouda, Mariko (KANEKA CORPORATION Secretary)

I think it was not only myself who felt "a little bit rough solemn" different from the awe-struckness at "Isejinguu" shrine I experienced on the occasion of spring trip. I might understand people's spirit gathering together here nationwide for attractive broadminded Kobo Daishi's personality accepting whole sect. I am usually not religious but I wilfully believed something good happening by getting an amulet for "marriage tie" and "Dainichi Nyorai" which is guardian deity for myself. Also I thought I would make the sermon titled as "3 powers" at Kongobuji temple my future mental source since it was very understandable. Those are 1.effort, 2.Budda's power and 3.neighboring power. Lunch was healthy "Shojin-Ryori" cuisine which I enjoyed very much. Thank you President Nishimura and his staffs for nice arrangement on the rainy day. I am looking forward to Kyoto trip on April 9 (Sat.) next year.

#### ☆Mr.Kazushi Murakami (Osaka)

I could enjoy a good opportunity to join the Osaka Japan America society's one day trip to Koya Mountain in October 30, 2004. I was very interested in one priest's speech in the Kongobuji Temple which is positioned a top temple of Singon Section. He was teaching us with his sense of humor Kobo Daishi's religious doctrines which is seemed to me very understandable. Change the subject I had read a book "Collapse of Financial system, which completely held Japanese financial market". Kensaku Munenaga who wrote such a book is an excellent bureaucrat of Finance Ministry after graduating from Tokyo university's law faculty, who is walking on the road of finance field (he is saying his career was not top level one in Finance Ministry). In his "Collapse of Financial system" he is explaining the difference between direct financing and indirect financing, saying although he can as well understand the facts of financial world through several years' experiences in finance departments as young boys in front of temple, he recommends us to try by ourselves text books written by famous professors of economy if we want to know the true meanings. I feel that they have too much knowledge and information in society. They would easily arrive at the level of non professionals in front of temple if they approach for example to some programs of graduates school. But for going to professional level we must walk on very hard and severe roads every day. It is not so good and light work. In the last I hope that Japan-America Society of Osaka is giving us good chance to observe Japanese tradition and to reflect present conditions.



#### The 44th Luncheon Seminar

The 44th luncheon seminar inviting Ms. Fusae Ohta, Governor of Osaka, was held at Hilton Osaka on November 26, Friday, 2004 with as many as 87 participants. Before the luncheon started, we prayed silently for the late Secretary General Gama, and then, enjoyed French cuisine which Hilton Osaka chefs did their utmost. Followed with the Governor ascended the podium and addressed us very plain and familiar talk titled "Revival of Osaka ~ with her overseas experience including America" ending that she spoke only less than half of the prepared contents. Thus the originally planned time was over but she kindly allowed special extra time for question-and-answer and as the final words, she gave us her enthusiastic appeal "to take decisive measure with firm belief and tenacity", which means "Osaka should become a die-hard". "Ganbarana Akan!"



### Upcoming Events

2005 Jan. 21 18:00~20:30

#### New Year's Reception (Rihga Royal Hotel)

This is annual New Year's party held in conjunction with Japan-"America Society of Osaka, Osaka-San Francisco Sister City" Association and Osaka Chicago Association. Please come and join it as you can enjoy drawing lot with big premiums and cheerful attraction which is planned by piano and tenor sax in jazzy atmosphere this time.



Mar.11

Noh-gaku Workshop (Osaka)

Mar.27

Spring Sumo Tournament & Talk with Ms. Watts

Apr.9

Spring Day Trip to Kyoto

Apr. 26

Jazz Session (Osaka International Convention Center)  
Big Band by the United States Air Force of the Pacific-Asia





### Kansai American Center Reference Service

The Reference Service can provide you with information about American politics, economics, society, U.S.-Japan relations, and so on. Information can be obtained through the use of specialized, state-of-the-art materials such as books, periodicals, CD-ROMs, microfilm and microfiche. Quick reference service can be provided by phone, fax or mail; however, more detailed inquiries should be made in person at the Kansai American Center Reference Service. At the Reference Service, information specialists are available to help you.

★**Collection** KAC has the latest information such as Reference books, Periodicals, Congressional publications, Videotapes, Current Reports by Federal Government, CD-ROMS, and Electronic Journals, and so on.

★**Perusal & Audition** Almost of Reference Materials Available are open access. So, you can make use of them without restraint inside the KAC. No rental service available.

★**Copy Service** There is a charge for copy of reference material and the result of information retrieval. (20yen/1sheet)

★**Reference Service** At the Reference Service, information specialists guide not only how to use the KACRS and look for the reference materials but also answer as to various inquiries about America.

★**Please Read This When You Visit KAC** Upon arrival at the Consulate, you are asked to show your personal or official photo identification (i.e., driver license, student ID, passport, alien card, etc.) to the Receptionist on duty. You will not be permitted to bring electronic devices (i.e., laptops, cell phones, radios, cameras, electronic dictionaries, etc.), food and drink.

Address : Consulate General of the United States of America,  
Osaka-Kobe 2-11-5 Nishitenma, Kita-ku, Osaka 530-8543  
Tel : 06-6315-5970 Hours : Monday-Friday 13:00-17:00  
HP : <http://osaka.usconsulate.gov>

### Chicago Mayor Visits Osaka

Mayor Richard M. Daley from Chicago, one of Osaka's sister cities, arrived in Osaka in October. Although his arrival was delayed by one day due to Typhoon 23, he handled his tight schedule with energy and enthusiasm. One of the highlights of his visit was the opening of the Chicago Gallery, with full-scale ceramic tile reproductions of 60 paintings from the Art Institute of Chicago displayed on the walls of Namba Walk. During his five terms (15 years in office), Mayor Daley has demonstrated strong leadership in the regeneration of Chicago, by increasing public safety through the cooperation of the police force and citizens, raising the level of standard in schools, and promoting social welfare. He is one of the most highly regarded mayors in the US. Last year, Osaka and Chicago celebrated the 30th anniversary of their sister city ties. With direct flights operating since this year, we hope the future brings even greater opportunities for exchange between the two cities. The Osaka - Chicago Association is always looking for new members. Please feel free to join.



### Contact: Osaka Sister City Network

TEL : 06-6772-9670 FAX : 06-6772-9790  
<http://www.sisternet/chicago/>

## Member's Column



Mr. Thomas A. Flippen II  
(Nishinomiya)

host country, we have explored more of Japan than we have of California, our home state, or of America itself. Among the adventures we experienced here perhaps the most memorable was our pilgrimage among the 33 temples of the Kansai. We needed about two years to complete that journey, but "yatta!" A "kakejiku" hangs in our little tokonoma and always brings fond memories. We have already decided where it will be displayed in our new home in Sonoma. Japan is absolutely the most foreigner-friendly country in the world. Nowhere else do the qualities of courtesy, honesty and diligence so permeate society - but then Japan is probably the last national community on earth. Our fondest recollections will therefore be of our Japanese friends, many of whom we met through the Japan-America Society of Osaka. During the 11 years I have been privileged to serve as a JASO director I have always tried to give back at least some of the many good things Laurie and I have experienced while working in this vibrant city of Naniwa. The Midosuji parade, Tenjin Matsuri, o-hanami at Osaka-jo Koen, udon suki, okonomiyaki, and the JASO Shin-en Kai are treasures of which we will speak often. Maido O-ki-ni! Sayonara, and thank you all for contributing so much to our lives in Japan.

### Sayonara, And Farewell

Laurie and I will leave Japan on December 18, 2004, exactly 15-1/2 years after my arrival. Our new home will be in Sonoma, the heart of California's wine country. That is nearly one-quarter of our lives, and the longest time that either of us have lived in the same place at any time during our lives. Few things, I think, will bring a couple closer than being "different" together at the same time and place. Thank you, Japan, for helping to make a wonderful marriage even better. As is perhaps true of many who are not native to their



Mr. Naohiko Fukada, Ph.D.  
(Osaka University of Arts President)

letter in Japanese. His name is Dick Thorsen. It was in 1946. Mr. Coffman sent the letter to some newspapers, and perhaps wrote in it I would like some pen pals. Later some letters from the USA came. And a letter came even from England, it said a friend from the USA taught me your address. As the correspondence with Dick opened, my English was weak, but I tried to send him many letters. During the Korean War, one evening, a taxi stopped in front of my house, and someone tapped on my house door, I was surprised by this unexpected visitor. I saw Dick, who was a lieutenant. Dick had leave and came to Kyoto from the war front, he had been staying at the MIYAKO Hotel. That night he stayed in my home, of course we both were single, he was surprised at my small house, anyway we talked with each other so much, but my ear could not catch most of his speech. Sometime I tried to write. After that we spent about 4-5 days going around Kyoto and Nara. Those were nice days though many words passed over my head. I studied psychology and I have lived as a psychology researcher till today. Even today, both our families are well and Dick and I are still working, and exchanging E-mail. Now I can recall many things about Dick and his families. He has come to my home and I have visited his home more than once. I have met many famous psychologists through my life of research, and many times through correspondence, but many of them have passed away. Many of them were older than me. I remember many things about bygone days and years, when Dick appears. I feel that Dick is the USA in my mind from immediately after the war till today.



Mr. Earl K. Okawa  
(Japan-America Society of Hawaii President)

Perry and the 6th generation descendants of Gohachiro Namura, one of the interpreters for Perry, at a seminar covering the 150 years of U.S.-Japan relations. We also conducted a Korea Trilogy Program to examine how recent changes on the Korean Peninsula are affecting the United States-Japan relationship. Our Best Wishes to all of you for a Happy Holiday Season and a New Year filled with good health, prosperity and success.



### Activities of JAS Hawaii

Aloha! Congratulations on your new newsletter. We were very happy to have Dr. Motoko Tsuzuku and her mother visit us. Your member are always welcome. Our Society held its Annual Dinner in August with Ambassador Ryozo Kato as the keynote speaker with Senator Daniel Inoue introducing the ambassador. At the Annual Dinner we had the four high school team winners of our Japan. Wizards Academic Team Competition tell about their trip to Japan. We also sent eight students to participate in the Asian Pacific Children's Convention in Fukuoka. We are now establishing sister school relationships between junior high schools in Japan and Hawaii. Earlier, we had the 6th generation descendant of Commodore

## Soliloquy

Secretary General Gama had a strong wish to include Mt. Koya in one of the possible autumn day trip sites since it matches this year's theme, "to explore the roots of Japan". He had this original idea even before it was registered as the world heritage and completed his own plan together with a travel agency. He joyfully led the participants there though it was rainy and on his way back home on the train, he chatted with his staffs much relieved, which I clearly recollect as if it happened only few days ago. It was totally out of my expectation that such an enthusiastic man, as passed away so suddenly. It seems that he visited his family temple on Mt. Koya and made a report of this trip to his ancestor. I cannot erase the usual scene of his entering the room saying "Good Morning, boss!" even now. We, the staff, will make our best effort till next July in pursuant of Secretary General Gama's passionate will for JASO. "Gassho" to pray.



## ◆ New members ◆

### Corporate Members

**Inter Group Corporation**  
President Kotani Taizo  
Executive Director Maeda Masahisa

**Iwatani Industrial Gases Corp.**  
Representative Director Yamasaki Takenori

**Asanuma Corporation**  
President Asanuma Kenichi  
Asanuma Takako  
Hosokawa Masayuki  
Nagai Hideo  
Shimizu Kenji

### Individual Members

Ikedo Yone Osaka  
Wada Kazuko Suita  
Hashimoto Haruo Suita

## <Information>

### Payment of the 2004 Annual Dues

The invoice for the above due has been sent at the beginning of August and almost all members already settled the bills. If you have not yet done, we would appreciate it, if you would do settle as soon as possible.

### Annual dues for

The corporate member : 20,000 yen per one share  
The individual member : 3,000 yen  
The family member : 1,000 yen

Now, new JASO labels readily available. Please contact JASO office for its purchase.



Price: ¥500 each

## Notes

JASO members' message is most essential for our News Letter. Do not hesitate to contribute even if you are afraid of English writing as our staffs are willing to help its translation. Mr. Nobuyuki Gama's sudden death is our great shock. As JASO Secretary General, he was trying to plan new events with new ideas and, among all, wishing JASO's development. We will make our best effort to finish up the rest term in pursuant of his will, and your kind cooperation will be much appreciated. (EM)



**Obituary Notice**  
Secretary General Nobuyuki Gama suddenly passed away on the morning of November 11. Please accept our deep appreciation for the given kindness for his lifetime.